

2015年12月22日 掲載 輸送経済新聞

物流審議官表彰

トナミ・第一貨物・久留米運送

グリーン物流PS会議で

トナミ運輸（本社・富田優良事業者として「国山県高岡市、綿貫勝介社長」、第一貨物（同・山形市、武藤幸規社長）、久留米運送（同・福岡県久留米市、二又茂明社長）の特積み三社は十五日、グリーン物流パートナーシップ会議（13面コラム）とば「教えて！」を参照）の平成二十七年



物流審議官表彰を受けた3社（左から第一貨物・武藤社長、羽尾物流審議官、トナミ運輸・綿貫社長、久留米運送・二又社長）

度優良事業者として「国土交通省物流審議官表彰」を受賞した。

評価されたのは、「モーターシフトを含む幹線輸送の共同化」「集配作業の共同運営」「IT（情報技術）システムや施設の共通化」による輸送事業の効率的な運営の取り組み。

三社は平成二十四年、合併会社「ジャパン・トランス・ライン（JTL）」、本社・東京、坂田昭雄社長）を設立し、東京と大阪間で共同運行を開始。共同化により各社の平均積載率を2%以上向上。情報の共通化で間接人員一人当たりの一時間平均売上高を2.1%程度向上させた。

業務提携を超えた先行事例
業務提携ではなく資本関係に踏み込み合併会社を設立し、出資元となった三社とも的確に連携して実績を挙げた点と、他の事業者の先行事例になり得るといふ点が評価された。

（鈴木 洋平）